

令和4年度 成果報告 産業観光課総括

1. 商工観光関係

- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた町内事業所に対して、事業継続のための融資事業の他、プレミアムクーポン券、販売や燃料割引券の配布、売り上げが減少した事業者に対する事業継続支援金等の事業を行った。
- 木曾路・伊那路広域観光連携会議としてのプロモーション事業や、かつての尾張藩をエリアとする地域が連携し、名古屋市が中心となって欧米豪からの集客を目的とした、観光プロモーション事業を展開した。また、観光客が安心して中山道を散策するためのアイテムとして、音声案内アプリを整備導入した。
- コロナ禍で様々な行事・イベントが中止になってきたが、ワクチン接種の広がりの中で、規模を縮小してのイベント開催が少しずつ再開され、町ではなぎそミツバツツジ祭りや工芸街道祭り、地域では、観月会、花馬祭り、文化文政風俗絵巻之行列等が開催され賑わいを見せた。

2. 農政・農村整備・林務関係

- 中山間地域等直接支払制度の第5期（令和2年度～6年度）と多面的機能支払交付金事業の第2期（令和元年度～5年度）による各協定での取り組みが進められ、農道・水路の維持管理が行われた。
- コロナ禍による飼料肥料の高騰対策として新たな補助金制度を整備し、農家支援を行った。
- 畜産振興については、町有牛導入事業や素牛導入事業等により肉用牛飼育頭数の維持を図っているが、畜産農家は減っている。また、肉用牛の家畜市場の子牛の平均価格はコロナ禍の需要減により低下してきている。
- 細の洞地区における小水力発電事業は、令和3年1月から発電及び売電を開始した。令和4年度は約710万円の売電収入を得て、維持管理や基金、学校施設の電気代等他事業への充当を行った。
- 農地の基盤や排水の不具合を解消するための耕作条件改善事業を新たに設け、水田の改修を行う農家さんを支援した。
- 有害鳥獣対策として、2基目のサル用大型捕獲檻の設置と、くくりワナ等を猟友会に配布し個体数調整を図った。また、柵の設置2か所を実施し、有害鳥獣の侵入防止対策を行った。
- 森林経営管理制度は、妻籠城山地区の再委託募集と森林整備、3地区目として田立傘木地区の意向調査を広域と連携して行った。また、森林環境譲与税を活用し、皮剥ぎ防止に係る補助金を新設した。

【評価】

- 観光協会は、一般社団法人化され協会組織体制も新しくなり3年目となる。旅行業の資格も取得したことから、今後の新たな開発や既存の観光施設を活かした独自の展開が期待される。町はこれを支援していく体制が理想的であり、協会が財政面でも自立できるまで今後も支援を行っていく必要がある。
- 新型コロナウイルスの影響を受けた事業者の緊急支援策や、アフターコロナを見据えた、観光客の誘客対策で、今後も観光振興を図っていく必要がある。
- 妻籠宿有料駐車場運営事業は、令和4年度から一般会計で賄うこととなったが、観光客の激減で使用料の収入は減少し依然厳しい状況が続いていることから、今後も利用者の増加や運営の合理化を図っていく必要がある。
- 中山間直接支払や多面的機能支払事業は、自主的な維持修繕で農地を保全できるほか、農家の所得補償にもなっているため今後も継続が必要である。
- 細ノ洞小水力発電施設は、令和3年1月から供用を開始した。発電により得られた電力を売電し、農業用施設や公的施設の維持管理費等に充てていくため、今後は安定的な稼働に務めていく必要がある。
- 森林造成事業等町上乘補助金は、森林組合の民有林搬出間伐の事業に対する支援であり、健全な森林を維持するために今後も必要な事業である。
- 森林経営管理制度は、意向調査の結果、町管理の意思を示す方が多いので、町による健全な森林整備や森林管理に向けて進めていく必要がある。今年度は3地区目の経営意向調査が行われた。また、町の管理を委託された森林の一部は集積することによって森林整備の再委託を契約することができた。
- 有害鳥獣駆除事業は、農作物被害及び林業被害防止のため、状況を把握しながら継続的な駆除が必要である。また、鳥獣被害対策実施隊の駆除報償や資格保持者の経費負担の軽減を図り、高齢化し減少しつつある実施隊員の確保を図っていく必要がある。

7 産業観光課所管

1. 商工

(1) 商工振興

○雇用対策について

- ・木曾地区雇用対策推進協議会及び木曾地域就業促進・働き方改革検討会議（7月7日）
木曾地区の雇用情勢等の報告、各町村で意見交換。
木曾地区高校生向け企業説明会、木曾地区就職面接会の開催。
- ・中津川市雇用対策事業との連携（負担金：33千円）
高等学校求人一覧冊子の作成、配布（蘇南高等学校：3冊、木曾青峰高校：1冊）
- ・公共職業安定所の発行する求人情報を窓口を設置（役場、南木曾会館）

○資金融資措置

中小企業の経営基盤確立のため、県及び町の制度資金（設備・運転資金）に係る融資斡旋を商工会及び県信用保証協会並びに金融機関と連携して実施した。

融資額は、新型コロナウイルス感染症の影響が続いているため、令和2年度から大幅に増額しており、令和4年度は令和3年度と比べ、増額（71,150千円）となった。融資内容としては、運転資金及び創業支援となった。

- ・町中小企業振興資金（年利2.0%）

預託金 総額 21,500千円

八十二銀行 11,000千円 岐阜信用金庫 6,500千円

木曾農協 4,000千円

- ・融資の状況

町制度資金 2件 5,300千円

県制度資金 17件 225,250千円

計 19件 230,550千円

※経営健全化支援資金（新型コロナウイルス対策） 10件 191,700千円

信州創生推進資金（創業支援向け） 7件 31,580千円

- ・制度資金あっせんによる保証料補給

町制度資金 2件 90千円

県制度資金 17件 4,406千円

計 19件 4,496千円

※経営健全化支援資金（新型コロナウイルス対策） 10件 3,704千円

信州創生推進資金（創業支援向け） 7件 675千円

- ・災害影響による借入に対する利子補給

令和2年度 31件 3,064千円 ※運転資金30件、設備投資1件

令和3年度 13件 1,031千円 ※運転資金9件、設備投資4件

令和4年度 10件 760千円 ※運転資金8件、設備投資2件

○小規模事業者への指導

- ・小規模事業指導費として南木曾商工会に4,500千円を交付。経営指導、融資斡旋等を実施。
- ・地域内消費拡大事業補助金として、なぎそ・おたのしみカード会に200千円を交付。
- ・カード・商品券事業を実施。

○木材、木工業の振興

- ・ウッディ・クリエイト・ナギソ（WCN）の事業に99千円を交付。
- ・第37回南木曾町小学生木工造形コンクールの実施（展示は町民展と同時開催）
応募作品161点

○木材産業体験事業

- ・町内木工事業者の協力により、南木曾小学校3年生が総合的な学習「南木曾の木を知ろう」で、間伐材を利用した木製テーブル・ベンチ作りを行った。テーブル4台、ベンチ8台を町内観光地等へ配置した。

事業費 215千円（県：126千円、町：89千円）

設置場所：認定こども園、田立社会教育施設、天白公園

○伝統工芸品の振興

- ・イベント・物産展へ参加してのPR及び販路拡大を図れなかったが、町内の伝統工芸の後継者育成と振興を図るため次の団体に助成を行った。

- ・「南木曾ろくろ細工」（国指定伝統的工芸品） 南木曾ろくろ工芸協同組合 350千円
- ・「蘭檜笠」（県指定伝統的工芸品） 蘭檜笠生産協同組合 実績なし
- ・「田立和紙」 田立和紙保存振興会 300千円

○木曾勤労者共済会

- ・会 員 数 163名（令和5年3月末現在）
- ・加入事業所数 33企業
- ・共済給付事業 祝 金 20件 180,000円
見舞金 2件 41,000円
弔慰金 1件 10,000円
- ・融資事業（生活資金・住宅改良資金） 0件
町村預託金 2,000千円 長野県労働金庫木曾福島支店
- ・人間ドック利用補助 12件 50,285円
- ・一般検診 1件 3,700円
- ・勤労者共済会組織町村負担金 994,426円

○新型コロナウイルス感染症の影響を受けての事業者支援関係

- ・事業継続支援給付金給付事業（短期）

町に所在地があり、令和4年1月～6月のうち3ヶ月の売り上げ合計が令和元年（平成31年）比で30%以上減収した事業者に対し、上限200千円を町独自の支援金として給付を行った。

事業者	89件	17,374千円
委託料（商工会）		360千円
計		17,734千円

- ・セーフティーネット制度資金保証料支援、利子補給事業

令和4年度に臨時交付金を活用し利子補給基金を設立した。セーフティーネット保証制度で4号認定された中小事業者で、長野県経営健全化資金及び町中小企業振興資金の融資を受けた場合に、保証料の補助を行った。

令和4年度分	融資保証料	10件	3,704千円
	利子補給金	10件	760千円
	計		4,464千円

- ・南木曾町事業者応援プレミアムクーポン券事業

第6波対応事業者支援交付金（長野県事業）として、観光事業者を主体にプレミアムクーポン券を販売した。

発行総額 5,000円シート：2,500枚 3,000円シート：4,000枚

販売金額 5,000円シート：2,500円 3,000円シート：1,500円

募集案内先数：85事業所の内、取扱店舗数：72事業所

利用期間 令和4年6月25日～令和5年11月30日

販売実績 5,000円シート：2,499シート 販売率99.9%

3,000円シート：3,905シート 販売率97.6%

換金率 5,000円シート：6,215,250円 換金率99.4%

3,000円シート：5,803,800円 換金率96.7%

事業費 総事業費 13,087,740円（内訳：県費12,010,000円、町費1,077,740円）

換金費 12,019,050円、委託料（町観光協会） 891,920円

印刷製本費 176,770円

- ・南木曾町燃料高騰対策燃料割引券支給事業

新型コロナウイルス感染症により影響を受けている地域経済の活性化及び燃料高騰対策に伴う住民の経済的負担の軽減を目的として実施した。

実績として、町内にある燃料販売店5事業者でのみ使用可能とし、該当する町民の皆さんに対しまして、3,000円分の燃料割引券を支給しました。

発行額数11,691,000円、換金10,625,700円、換金率90.9%

- ・アフターコロナ誘客対策事業1

アフターコロナ後の誘客に向けて、南木曾町の特産品である「田立のお茶」をティーパックにして、観光パンフレットと共に袋に封入しイベント等で配布を行った。

総事業費 1,476,575円 消耗品 1,268,525円、印刷製本費 154,000円、委託料 54,050円

- ・アフターコロナ誘客対策事業2

アフターコロナ後の誘客に向けて、音声ガイドアプリを導入するため町観光協会へ補助金を交付し事業を実施した。「おともたび 南木曾中山道編」

総事業費 5,000,000円 補助金 5,000,000円

(2) 消費生活

○消費者相談等への対応

- ・町への苦情相談問い合わせ件数3件（内 電話勧誘：1件、訪問販売：1件、警察・消防へ通報・情報提供：0件、放送による周知：0件、不明：1件、県消費生活センター斡旋：0件）

- ・広報誌、広報無線などで被害防止の周知活動を必要な都度実施
- リサイクル運動 廃油の回収
 - ※令和元年7月以降、中津川市の業者に無料回収を依頼している。

(3) 運輸関係

○中央西線輸送強化期成同盟会部会

木曾地域交通網対策協議会で、JRへの要望活動を実施。

令和4年10月28日 「長野県JR連絡調整会議」(県庁)

令和5年3月8日 JR東海本社への要望活動

○南木曾駅窓口業務の受託 (平成24年10月1日～)

JR東海の南木曾駅無人化を受け、窓口での乗車券類の販売業務を町が受託して実施。新型コロナウイルス感染症の影響により観光客の利用減。

- ・窓口営業時間 午前7:50～午後4:05
(昼休憩 11:10～11:30 12:35～13:15)
- ・業務時間 午前7:30～午後4:30
- ・窓口従事者 1人体制
 - 乗車券類販売額 31,018千円 (R3 18,398千円) ※前年比+69%
 - 販売手数料 1,228千円 (R3 793千円) ※前年比+55%
 - ※販売額の乗車券5%、定期券1.8%
- ・運営経費 4,163千円 (委託料:4,000千円 使用料:163千円)
 - ※R3 4,159千円 (委託料:4,000千円 使用料:159千円)

(4) 地元特産品の宣伝等

- 工芸街道祭り (実行委員会主催) 11月5日～11月6日

2. 観光

(1) 観光行事、イベント関係

- 第20回なぎそミツバツツジ祭り (実行委員会主催) 4月9日～17日 (土・日のみ)
- 妻籠宿火まつり 中止
- 与川古典庵の観月会 9月10日 (外部に未周知)
- 田立の花馬祭り 10月2日 (規模縮小)
- 工芸街道祭り 11月5日～11月6日 (規模縮小)
- 文化文政風俗絵巻之行列 11月23日 (規模縮小)
- 新春狼煙上げ 1月4日
- 氷雪の灯祭り 2月18日

(2) 観光施設

- 観光施設工事関係 合計 29,150,000円 (観光施設整備事業) [別表]
 - ・田立の滝登山道整備事業
 - ・南木曾駅・妻籠宿公衆トイレ改修工事

○観光施設、登山道、歩道等の維持管理（草刈、小修理など）

合計 4,764,658 円（観光施設管理経費 一般修繕料）

- ・南木曾岳登山道（蘭側ルート）笹狩り、天白公園駐車場外灯 LED 化、公共サイン修繕ほか
- ・田立の滝登山道、柿其溪谷遊歩道、南木曾岳登山道、与川歴史の道、S L公園、他
- ・天白公園ツツジ園、駐車場 中学生によるボランティア整備作業を 2 回実施。シルバー人材センターへ整備作業を委託して実施しているほか、業者へつる草の撤去を発注した。また、ツツジ祭り開催前には、ボランティア作業による環境整備を実施した。

○観光案内板等の小修理、維持管理

- ・田立の滝、南木曾岳、柿其溪谷、天白公園、妻籠宿、他

○福沢桃介記念館と山の歴史館 指定管理委託：桃介橋河川公園組合

（指定期間）令和 3 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで（5 年間）

指定管理料：1,600,000 円（河川公園と併せて）

（利用状況）

（単位：人）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	3 月	合計	R3 実績
342	239	177	141	219	237	159	214	12	1,740	1,070

※12 月～3 月下旬まで冬季閉館

※新型コロナウイルス感染症流行前に比べて利用者は依然減少しているが、令和 4 年度は令和 3 年度に比べて 62.6%増加した。

（3）広域観光連携の取り組み

○木曾観光連盟・観光宣伝協議会と連携した取り組み

- ・著名人（絶景プロデューサー詩歩さん）によるコンテンツ発掘及び情報発信
- ・タイアップポスターによる宣伝
- ・デジタルサイネージによる宣伝
- ・木曾路宿場町散策ガイドの WEB 更新

○木曾広域観光振興プロジェクト推進会議との連携

- ・女子ソロキャンプ（2 回開催） 5 月 28 日～29 日、10 月 1 日～2 日 9 名参加
- ・木曾路スイーツめぐり 7 月 2 日～3 日 4 名参加
ワーケーションファミツアー 9 月 28 日～30 日 3 名参加
- ・木曾のていねいな暮らし（蜜ろう） 1 月 28 日～29 日 8 名参加
- ・木曾の漬物のおもてなし 1 月 30 日、2 月 23 日 18 名参加

○中津川市、阿智村、木曾広域圏との連携

- ・県際交流協議会 広域観光連携の推進 着地型旅行商品の研究
（南木曾町・中津川市・大桑村・上松町・王滝村・阿智村）

○伊那路・木曾路広域観光連携会議との連携

- ・伊那路木曾路広域連携会議 年 4 回
- ・プロモーション部会 年 9 回
- ・ツーリズム EXPO ジャパン 9 月 22 日～24 日 東京ビッグサイト
- ・南信州、木曾、上伊那 3 地域合同によるワークショップの開催 年 2 回
- ・「持続可能性」をテーマとしたコンテンツ商品の造成及びモデルルートの造成

- ・ 3 地域連携造成商品のファムツアーを実施

○尾張藩連携事業推進協議会との連携

かつての尾張藩に所縁のある名古屋市、犬山市、郡上市、下呂市、中津川市、塩尻市、木曾郡 6 町村の自治体と民間企業が連携し、名古屋を起点とする昇龍道中央エリアを周遊する尾張藩周遊ルートを新たに形成し、欧米豪からの集客を目的とした広域観光プロモーションを実施するために令和元年度に尾張藩連携事業推進協議会を設立し、名古屋市が中心となってプロモーション事業を行っている。

- ・ 尾張藩を軸とした旅行商品企画及び商品化事業～ドイツ市場～
- ・ 国内プロモーション事業 11 月 19～20 日 名古屋城
- ・ WEB 運営及び PR ツールの活用

○日本遺産木曾路活用検討部会との連携

令和 4 年度に日本遺産木曾路は再認定されましたが、日本遺産委員会から①民間事業者、団体の活用を図ること。②補助に頼らない自走できる団体にすること。③地域プロデューサー（事業の計画者であり推進者）を配置すること。の 3 点について改善・検討するよう指摘があったため、木曾地域文化遺産活性化協議会の事務局が主体となり、木曾町、上松町、南木曾町、大桑村、中津川市、木曾地域振興局、長野県商工会連合会木曾支部、木曾おんたけ観光局、一般公募による部会員で、令和 4 年度に検討部会が立ち上がりました。令和 4 年度は、活用に向けた意見を出し合う会議や講演会が開催されました。

○中央アルプス国定公園指定記念事業実行委員会 令和 4 年 8 月 31 日付で役割を終え解散。

中央アルプス山岳観光協議会は継続して事業を実施。

- ・ 夏山気象情報提供サービス
- ・ 観光宣伝用パンフレットの作成及び配布

(4) 観光協会等

○（一社）南木曾町観光協会 （町補助金：15,000 千円）

補助金内訳 町 10,000 千円、臨時交付金 5,000 千円

- ・ 第 6 波対応事業者支援交付金（長野県事業）として、観光事業者を主体にプレミアムクーポン事業を町から受託し事業を実施した。
- ・ 観光庁主催の持続可能な観光と観光国際基準を学ぶ「持続可能な観光研修（GSTC STTP）」に参加し、基礎や国際基準を学んだ。研修後には、有識者の添削をいただきながら現状分析と改善に向けての取り組みを行う伴走支援事業者に選定され、今後の方向性などを明確にする機会を得た、
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策臨時交付金を活用し、アフターコロナを見据えて、国内外の観光客が安心して観光ができる環境整備のため、スマートフォンを利用した多言語（日本語・英語）対応可能な観光スポット音声ガイドアプリ「おともたび南木曾・中山道編」を導入し公開した。
- ・ 伊那路木曾路広域連携会議の事業の一環として、世界最大の旅行博であるツーリズム EXPO（会場：東京ビッグサイト）に出展した。
- ・ ふるさと全国県人会まつり 2022（会場：名古屋城）に出展し、観光 PR を行った。
- ・ 木曾観光連盟が主導する、名古屋市栄地下街のウィンドーディスプレイにおいて、南木曾

町の観光PRを実施した。

- ・南木曽駅観光案内所 1日1名（年末年始除く。観光客案内、駅前公園の清掃等）
- ・メディア関係広告掲載
- ・新聞広告、旅行紙広告に掲載（年間随時）
- ・各種取材、TV放送取材の対応
- ・南木曽町観光協会公式ホームページ「ぶらり南木曽」英語版、スマホ英語版の対応管理、運営
- ・ぶらりなぎそ等観光パンフレットの更新及び印刷

※町からの委託業務

- ・南木曽駅切符販売業務（委託料4,000千円）
- ・南木曽駅前公衆トイレ管理（委託料500千円）
- ・南木曽町観光宣伝業務（委託料4,856千円）

○木曽観光復興対策協議会

観光業を中心として御嶽山の噴火により深刻な影響を受けた木曽地域の復興を図るため、県、郡内町村、木曽広域連合、木曽観光連盟、木曽郡内観光協会等で組織する協議会を平成26年度に設立。復興事業、PR活動等実施している。

○町加盟団体：木曽観光連盟、長野県観光連盟、みなみ木曽路連絡協議会、

中央アルプス山岳観光協議会、日本桜の会、国有林観光施設協議会、日本の森滝渚全国協議会、木曽地区温泉協会、全国街道交流会議、信州まつもと空港利用促進協議会、南木曽伝統工芸の森育成協議会、伊那路木曽路広域観光連携会議、尾張藩連携事業推進協議会

○南木曽駅観光案内所対応件数（※窓口で対応した件数・人数。外国人は通過者数。）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
問 合 件 数	R4	325	413	294	209	245	284	525	662	325	253	308	744	4,587
	R3	316	231	144	158	182	220	363	439	172	108	91	238	2,662
	R2	99	8	134	133	192	277	449	452	218	80	144	271	2,457
	R元	1,244	1,033	730	837	970	944	1,203	1,097	406	334	298	422	9,518
案 内 人 数	R4	647	732	481	387	462	535	1,180	1,453	664	487	632	1,804	9,464
	R3	564	417	226	287	280	321	653	789	265	140	145	363	4,450
	R2	160	12	224	246	322	504	818	946	341	97	222	409	4,303
	R元	3,037	2,602	1,796	2,102	2,325	2,189	2,993	2,594	894	700	614	861	22,687
外 国 人	R4	31	67	40	122	74	111	594	1,132	490	345	448	2,281	5,735
	R3	53	60	20	32	21	52	56	77	11	12	7	21	422
	R2	48	4	45	49	44	56	86	96	37	1	28	34	528
	R元	4,402	3,538	2,399	2,902	3,067	3,060	4,723	3,539	781	607	529	643	30,190

○観光客入込数

単位：百人

	妻籠宿	柿其溪谷	田立の滝	南木曾 山麓	南木曾 温泉郷	富貴畑高原 温泉郷	合計
R 4	1,916	131	751	155	1,342	99	3,718
R 3	1,393	35	85	123	832	66	2,534
R 2	1,673	78	68	172	979	84	3,054
R 元	3,867	135	49	184	1,847	132	6,214

○中山道馬籠峠を越える外国人ハイカー [(公財) 妻籠を愛する会調べ]

地点：一石栃立場茶屋

単位：人

R 4	4,823	R 3	859	R 2	1,138	R 元	37,823
-----	-------	-----	-----	-----	-------	-----	--------

[別表]

令和4年度商工観光関係主な建設事業及び補助事業

単位：千円

事業名	事業箇所	事業量	事業費	左の財源内容				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
田立の滝登山道整備事業	南木曾町田立	建設工事 L=71.5m	21,252		21,250		2	工事請負費
		設計監理 一式	781		750		31	委託料
小計			22,033		22,000		33	
南木曾駅・妻籠宿公衆トイレ改修工事	南木曾町読書、吾妻	建設工事 4箇所	6,468	6,400			68	工事請負費
		設計監理 一式	649	100			549	委託料
小計			7,117	6,500			617	
合計			29,150	6,500	22,000		650	

3. 駐車場一般管理費

(1) 指定管理者制度

・令和3年度からの指定管理者について、減収を続けている駐車場会計を考慮し指定管理料の積算を全面的に見直し13,700,000円とした。公募したところ「(公財)妻籠を愛する会」のみが申請し審査の結果、令和3年度から令和7年度までの指定管理者となった。

(2) 収支の状況(令和4年度から一般会計へ移行)

歳入総額 19,301,610円
 歳出総額 19,301,610円

※令和4年度に一般会計へ移行したが、決算額を示すうえで例年どおりの表とした。

次年度への繰越金は一般会計全体で処理されるため、決算上歳入額と歳出額を同額とした。

○歳入の状況

(単位：円)

科目	令和4年度	構成比	令和3年度	増減
1. 使用料及び手数料	15,667,790	81.17%	11,094,790	4,573,000
2. 繰越金	0	0%	904,503	△904,503
3. 一般財源	3,633,820	18.83%	13,432,012	△9,798,192
4. 財産収入	0	0.00%	28	△28
歳入合計	19,301,610	100.00%	25,431,333	△6,129,723

歳入の決算額は、19,301,610円で、このうち駐車場の使用料は15,667,790円となり令和3年度比プラス41%、4,573,000円の増額となった。使用料のみでは財源が確保できないため、不足額として3,633,820円を一般財源から充てている。

使用料増額の原因は、新型コロナウイルス感染症の影響によって駐車場利用は減少していたが、移動規制がなくなるなどしたため観光客の増加に繋がったと考えられる。

○歳出の状況

(単位：円)

科目	令和4年度	構成比	令和3年度	増減
1. 駐車場一般管理費	19,301,610	100.00%	25,431,333	△6,129,723
(内 駐車場管理委託料)	(13,700,000)	(70.98%)	(13,700,000)	(0)
歳出合計	19,301,610	100.00%	25,431,333	△6,129,723

駐車場一般管理費の内訳

(単位：円)

科目	令和4年度	構成比	令和3年度	増減
旅費	0	0.00%	0	0
需用費	1,447,455	7.50%	120,250	1,327,205
役務費	108,434	0.56%	108,434	0
委託料	13,700,000	70.98%	13,700,000	0
使用料及び賃借料	3,761,121	19.49%	3,761,121	0
負担金補助及び交付金	0	0.00%	4,000	△4,000
補償・補てん及び賠償金	0	0.00%	0	0

積立金	0	0.00%	28	△28
公課費	284,600	1.47%	328,500	△43,900
繰出金	0	0.00%	7,409,000	△7,409,000
委託料	0	0.00%	0	0
工事請負費	0	0.00%	0	0
合計	19,301,610	100.00%	25,431,333	△6,129,723

歳出の決算額は、19,301,610円で、前年度に比べ6,129,723円の減額となった。主な原因として、一般会計に移行したため、繰り出し金がなくなったことによるものである。

(3) 事業の実績

○営業期間 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

※第1・第2駐車場は、12月31日を除き毎日営業を行った。

※第3駐車場は、4月～11月の土・日・祝日に営業を行い、11月24日～3月31日は休みとした。

○営業時間 午前8時30分から午後5時00分まで（3月～11月）

午前8時30分から午後4時00分まで（12月～2月）

○駐車料金 二輪車 200円、普通 500円、マイクロバス 1,500円、バス 2,000円

○工事等 新型コロナウイルス感染症対策臨時交付金により第一駐車場、第二駐車場、第三駐車場の公衆トイレの洋式化及び自動水洗化を実施したが、ほかの公衆トイレも同様の工事を行ったため、一括して観光施設整備事業で工事を施工した。

○パンフレット等の製作 妻籠宿案内図、駐車場領収書を印刷した。

○利用状況

令和4年度 町営駐車場利用状況

(単位：台)

	バス		マイクロ		普通車		二輪車	
	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度
4月	120	80	9	2	2,076	1,714	129	145
5月	113	6	10	3	3,481	2,163	451	312
6月	46	12	5	1	1,415	942	95	54
7月	43	23	6	3	1,731	1,488	96	134
8月	40	8	2	1	3,137	1,508	125	69
9月	55	8	9	1	2,233	1,734	177	132
10月	166	86	22	11	3,643	3,074	302	374
11月	163	135	19	19	3,155	3,173	135	219
12月	58	53	9	5	1,129	908	14	10
1月	20	23	7	0	755	536	0	0
2月	72	10	7	0	778	406	5	6
3月	207	13	14	0	1,706	1,363	49	33
合計	1,103	457	119	46	25,239	19,009	1,578	1,488
比較	+646		+73		+6,230		+90	

4. 地域交流

○「日本で最も美しい村」連合

- ・担当者会議、ブロック会議 4月22日 東京都
- ・長野県会議 4月27日～28日 小川村
- ・定期総会、学習会 6月29日～7月1日 秋田県小坂町
- ・担当者会議 10月30日～31日 東京都
- ・長野県会議 11月11日～12日 伊那市方面
- ・通年 季刊誌、パンフレット情報の更新。取材対応

○長久手市との交流

- ・通年 新生児祝い品事業 実績数：553件（R3：526件）
- ・中止 平成こども塾受け入れ（マスつかみ等） 南木曾町
- ・11月27日 ながくて市民まつり 長久手市

○上下流交流

- ・第1回上下流実行委員会 4月26日 木曾広域連合
- ・第2回上下流実行委員会 3月 書面会議
- ・第16回木曾三川と堀川・上下流をつなぐ交流会 6月25日 南木曾町
- ・木曾三川と堀川・上下流をつなぐ交流会 11月26日 愛知県 ※住民対象

○木曾三川流域連携

- ・6月2日 第1回木曾三川流域連携課長会議 Web会議
- ・8月30日 第2回木曾三川流域連携課長会議 Web会議
- ・2月9日 第3回木曾三川流域連携課長会議 Web会議

5. 農政関係

(1) 農業委員会事務局関係

① 定例農業委員会

- ・開催回数 12回（毎月）

② 審議、活動等内容

- ・農地案件の現地確認調査、審議
- ・農業経営基盤強化促進法による利用権設定の審議
- ・農地利用の最適化にむけた地区懇談会への参画
- ・転作の現地確認・中山間直払等現地確認
- ・遊休農地に関する措置の状況調査
- ・農地無断転用防止のパトロール活動
- ・農作業安全運動推進PR
- ・農作業標準料金の審議
- ・農地農家台帳システムの整備（eMAFF等への移行）
- ・町内各生産部会等への参画
- ・全国農業新聞普及、拡大の取り組み
- ・長野県農業委員大会と各種研修会（県農業会議・情報活動・郡事務研）への参加

③ 農業委員名簿

ア. 農業委員

（任期 令和3年2月15日～令和6年2月14日）

氏名	担当地区	備考	氏名	担当地区	備考
伊藤 兼彦	妻籠	地区推薦	小倉 勉	与川・三留野	地区推薦
早川 親利	三留野・妻籠	地区推薦	山川あゆみ	与川・三留野	地区推薦
片田 恵	田立・妻籠	団体推薦	青木 房江	蘭・広瀬	団体推薦
高橋 徳	田立	地区推薦	古川 和久	蘭・広瀬	地区推薦
松原 徳則	与川・三留野	地区推薦	松原 正典	与川・北部	地区推薦
古井小恵子	田立	地区推薦	11名		

イ. 農地利用最適化推進委員

（任期 令和3年2月15日～令和6年2月14日）

氏名	担当地区	備考	氏名	担当地区	備考
松原 規行	読書全域	地区推薦	松下 建三	吾妻全域	地区推薦
小幡 悟	田立全域	地区推薦	3名		

④ 農地関係取扱件数

（面積は小数点以下第1位で四捨五入）

内 容	件数	面積 (㎡)
農地法第3条による所有権移転 （売買等による農地の所有権移転）	7	8,474
農地法第4条による農地転用 （所有者による農地以外への転用）	2	131
農地法第5条による農地転用 （所有権移転または貸借等の権利設定を伴う農地以外への転用）	4	5,058
公共的事業等に伴うによる農地転用	0	0
非農地証明	2	3,234

参考：農地以外への地目変更面積 8,423 ㎡

(2) 農業振興関係

① 経営所得安定対策と米政策

経営所得安定対策では、米・麦・大豆等について、需要に応じた生産の促進と水田農業全体としての所得向上等により、農業経営の安定を図るため実施されている。町では木曾郡農業再生協議会を中心に米及び有利な転作作物の推進を図った。

町内農家等に交付された交付金は総額 7,079 千円 (R 3 年度 8,804 千円) となった。

ア. 水田活用の直接支払交付金

・戦略作物助成 (前年)

作物名	単価 (円/10a)	面積 (㍊)	交付金額 (円)
大豆	35,000	8 (8)	28,000 (28,000)
飼料作物 (播種有)	35,000	14 (529)	490,000 (1,851,500)
飼料作物 (播種無)	10,000	325 (—)	325,000 (—)
発酵用稲 (WCS)	80,000	539 (607)	4,312,000 (4,856,000)
合計		886 (1,144)	5,155,000 (6,735,500)

※飼料作物 (播種無) 単価は令和 4 年度から設定

・県、郡産地交付金

	単価 (円/10a)	交付金額 (円)
産地交付金	※下記単価参照	1,924,147 (2,068,929)

水田における生産性向上等の取組助成 (そば 4,294 円、大豆 6,442 円、飼料作物 6,549 円、WCS 用稲 18,575 円) 高収益作物の取組助成 (ハクサイ・スイートコーン・赤カブ 21,366 円、インゲン・トマト・エゴマ・トルコギキョウ・小菊・啓翁桜 17,071 円) そば作付への助成 (20,000 円)

イ. 水田農業共同利用施設整備事業補助金

事業主体 木曾農業協同組合

事業内容 6 インチ粃摺り機購入 2 台

事業費 7,975,000 円 補助金 1,728,000 円

② 地域農業対策

地域営農体制の整備、農地の有効活用により持続的な農業生産を可能とする農業構造を構築するため、各種の取り組みを実施した。

ア. 農業関係制度資金利子補給金 0 件

イ. 農業振興小規模資金及びつなぎ資金関係

令和 4 年度利用実績 0 件 貸付現在高 (令和 4 年度末) 0 件 0 円

ウ. 農振農用地一般管理事業

編入面積 0 ㎡ 除外面積 0 ㎡ 用途変更 0 ㎡

エ. 農地利用集積計画

利用権設定面積 (農業経営基盤強化促進法に基づくもの)

年度	設定面積	年度末計画面積合計
平成 30 年度	5.2ha	26.6ha
令和元年度	5.3ha	25.7ha
令和 2 年度	8.2ha	22.2ha
令和 3 年度	5.8ha	25.0ha
令和 4 年度	6.7ha	24.8ha

(設定面積は該当年度における利用権の新規設定及び更新の合計)

オ. 人・農地プラン

中山間直接支払集落協定毎に 10 年後の農地利用に関するプランを作成し令和 2 年度から公表している。

町はプランの随時見直しを推奨し各集落協定に話を勧めていたが、国が農業経営基盤強化促進法の一部改正を翌年度に行うとしたことにより、人・農地プランは「地域計画」として法定化され新たな計画の作成が必要となった。

カ. 肥料高騰緊急対策補助金

コロナ禍による肥料高騰対策として、令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 2 月 28 日（秋肥・春肥）までの間に購入した肥料の費用に対して 1 割を補助した。

（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業）

補助件数 158 件 補助金 1,122,600 円

③中山間地域等直接支払制度

中山間地域等直接支払制度は第 5 期対策（令和 2 年度から令和 6 年度まで）を町内 26 の集落協定で実施中。

交付金 35,270,943 円（内訳：国 17,635,464 円 県 8,817,718 円 町 8,817,761 円）

集落名	面積 (㎡)	交付金 (円)	集落名	面積 (㎡)	交付金 (円)
与川一区	87,926	1,716,666	橋場	51,246	1,052,033
与川三区	73,814	1,468,194	大妻籠下り谷	61,300	1,276,299
与川四区	67,033	1,319,749	上在郷	48,689	1,119,729
与川五区	32,675	686,175	尾越	21,802	457,842
十二兼	36,529	710,017	上段	53,448	1,122,408
本谷	81,034	1,701,714	蘭	18,864	396,144
岩倉	84,089	1,842,963	元組	87,843	1,844,703
椰野	20,850	437,850	向栗畑	104,036	2,142,476
川向	27,712	409,209	栗畑	118,324	2,416,313
上の原	133,342	3,120,823	下切	80,922	1,812,148
神戸	31,351	706,491	大野	64,386	1,628,496
渡島	11,326	203,231	正兼	80,782	2,071,230
妻籠町上	40,112	818,604	塚野	129,038	2,789,436
			合 計	1,648,473	35,270,943

④園芸特産振興事業

ア. 茶の振興関係

・田立製茶工場

操業 5 月 4 日～5 月 24 日（21 日間）生葉受入 13.0 トン（前年度 12.6 トン）

・農作物加工施設燃料高騰等対策補助金

コロナ禍による燃料高騰対策として、田立製茶工場の操業に係る燃料費の高騰分に対して補助金を支出した。

（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業）

補助金 122,000 円（補助率 10/10）

- ・第49回長野県茶の共進会
開催日 7月12日(火) 場所 阿南町民会館
総出品点数 24点(内、町内出品点数6点)
町内入賞者 特別賞 白金恒行

イ. 野菜関係

農家の自主的運営で野菜の直売や道の駅、Aコープで販売されている。

- ・野菜自動販売機の設置

コロナ禍により集客イベントの開催が自粛傾向にあるなか、人の密を避けた販売機会の確保として、野菜の自動販売機を3機購入し設置した。

野菜自動販売機設置 3箇所(駅前広場、天白公園、分庁舎)

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業)

事業費 2,164,883円

その他、町内の個人設置無人販売所 2箇所(田立)

- ・地産地消関係

地元消費拡大を目的に生産、販売、商工、観光、学校関係者で「地産地消推進協議会」を組織して軽トラ市場部会と学校給食部会が活動を行った。

軽トラ市場は、昨年と同様に長雨の影響で野菜の生育が悪く、販売できる量の確保が困難だったこと及びコロナ感染予防のため、7月から12月までのうち4回のみ開催となった。

学校給食の食材供給者に対する補助は、例年どおり運搬費補助を実施した。

軽トラ市場なぎそグリーンマーケット開催状況 ()は前年数値

開催数	売上合計	延べ出店者数	主な開催場所
4回 (7回)	142,500円 (258,200円)	16店 (40店)	南木曾駅横駐車場

学校給食食材提供運搬補助実績 ()は前年数値

【小学校】			【中学校】		
延べ回数	補助額(円)	売上合計(円)	延べ回数	補助額(円)	売上合計(円)
168回 (140回)	43,580円 (41,840円)	307,109円 (248,734円)	253回 (269回)	50,240円 (69,465円)	449,096円 (337,741円)

ウ. 花卉・花木関係

各農家がJAを通じて出荷を行った。

出荷数量

品種	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
ヒペリカム	6,025本	3,160本	3,160本	2,810本	3,170本
こうやまき	23,171本	29,377本	30,614本	37,725本	26,843本

エ. 園芸特産品振興事業補助金

パイプハウス設置事業補助金 実績なし 【補助率1/2 上限30万円】

オ. みつばちふそ病関係

ふそ病検査を、松本家畜保健衛生所に協力して実施した。(対象戸数4戸)

ふそ病の発生の確認なし。

広報誌により新規飼養者への届出等の必要性について周知を行った。

⑤畜産振興事業

ア. 家畜飼育状況(令和5年3月現在) (単位:頭)

年度	乳牛		肉用牛	
	農家数	成乳牛数	農家数	繁殖牛数
H30	1	23	8	63
R元	1	22	8	71
R2	1	22	8	76
R3	0	0	7	83
R4	0	0	6	77

イ. 家畜市場(子牛)状況の推移(令和5年2月末現在) (単位:千円)

年度	雌		去勢		子牛全体		売上合計
	頭数	平均金額	頭数	平均金額	頭数	平均金額	
H30	28	678	24	770	52	720	37,462
R元	18	669	26	782	44	747	32,883
R2	24	603	30	705	54	660	35,633
R3	15	587	34	732	49	687	33,677
R4	21	536	26	613	47	579	27,212

ウ. 家畜診療関係

平成16年度からNOSAI長野中信地域センター(旧NOSAI中信診療所)へ委託。

令和4年度負担金673,000円

エ. 畜産振興事業補助金

素牛導入事業

・素牛導入 1頭 補助金300,000円 【補助率1/2 上限30万円】

・自家保留 1頭 補助金60,000円 【定額6万円/頭】

オ. 町有牛導入事業

1頭導入 793,875円 1頭譲渡 778,048円

年度末保有町有牛 5頭 評価額 計4,130,724円

カ. 飼料高騰緊急対策交付金

コロナ禍による配合飼料高騰対策として、家畜の種類、飼養頭数に応じて給付金を交付した。また、養魚所へも給付金を交付した。

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業)

補助金単価 牛4,000円/頭 山羊・羊1,000円/頭 養魚所30,000円/件

補助金637,000円

内訳 牛6件492,000円 山羊1件48,000円 羊1件7,000円

養魚所3件 90,000円

キ．長者畑草地関係

長者畑草地利用組合の解散により、令和元年度から町管理となった。

返地に向けて木曾森林管理署との協議を進める予定だったが、J Rのリニア残土処理場の候補地となり返地協議を中断、残土処理候補地として協議されてきたが地元から計画の白紙要望が提出された。

ク．大原公共採草地管理関係

大原公共採草地管理組合（組合員3戸）

牧草を播種し草地として利用を継続している。

一部を公共工事の残土処理場として施工している。施工後は複数のほ場を一つにまとめたほ場として復旧する。

ケ．放牧関係

牛の放牧は、遠方で管理することの負担が大きいため減少傾向にあるが、畜舎の近隣での放牧は継続して行っている。

牛の放牧の他、綿羊(サフォーク種)の放牧は引続き実施している。牛に比べて移動が容易である等のメリットはあるが、個体数が少なく需要に追いついていない状況である。

放牧期間・面積 5月から10月（6カ月）約5.5ha

主な放牧場所：与川・椰野・上の原・塚野

コ．畜産クラスター事業関係

畜産農家、J A、県、町で構成する繁殖和牛生産振興ネットワーク協議会の事業。自給飼料の拡大や機械導入を計画、実施していく協議会。

○機械導入事業等

実施農家1戸

マニユアスプレッダー 1台

価格4,550,000円 補助金2,275,000円 【補助率1/2】

○生産基盤拡大加速化事業（増頭事業）

該当農家3戸 増頭数4頭 増頭奨励金984,000円【246,000円/頭】

⑥農作物有害鳥獣被害対策事業補助金

電気柵等を購入、設置した場合の購入経費を補助。

（中山間地域直接支払制度受益農地は対象外）

実績なし 【補助率1/2 上限3万円】

⑦農業技術の普及・改善・指導・試験研究

農業関係の普及事業等について木曾農業農村支援センターやJ Aとの連携及び農技連の活動により推進した。

- ・農事(気象・防除等)に関する広報活動、農作業安全月間啓発活動
- ・農事懇談会 3月に8か所で開催
- ・稲作現地指導会 6月に26か所で実施
- ・のうさいドローンによる水稲防除作業への協力
- ・水田の水管理装置（遠隔監視）試験
- ・ヒペリカムやコウヤマキの出荷目揃い会等 7月
- ・えごま栽培講習会 年4回
- ・先進地視察 愛知県農業総合試験場（イチジク栽培）

(別表)

令和4年度 農政関係主要事業

1. 農業委員会事務局関係

事業名	事業量	事業費	左の財源内訳				備考	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源
農業委員会運営経費（最適化事業）	14名	3,885		1,948			1,937	
機集積支援事業		1,116					1,116	農地台帳保守
合計		5,001		1,948			3,053	

単位：千円

2. 農業振興関係

事業名	事業量	事業費	左の財源内訳				備考	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源
水田農業構造改善対策事業		236		120			116	
水田農業共同利用施設整備事業補助金	糶摺り機2台	1,728					1,728	J A 事業費7,975
中山間地域等直接支払交付金	165ha	35,271	17,635	8,818			8,818	
素牛導入事業	2頭	360					360	うち自家保留1頭
NOUSAI家畜診療所運営負担		673					673	
肥料高騰緊急対策補助金		1,122						
飼料高騰緊急対策交付金		637	1,749				10	コロナ交付金
農作物加工施設燃料高騰等対策補助金		122	120				2	コロナ交付金
野菜自動販売機購入	3機	2,165	1,500				665	コロナ交付金

単位：千円

コロナ交付金：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

6. 農村整備関係

(1) 町単小規模修繕事業

①土地改良施設修繕

中山間直接支払制度の対象地域外の施設修繕を実施した。

(農道1件、水路1件)

②土地改良施設原材料支給

各地区で実施する施設整備のための原材料支給を行った。

(農道1件)

※事業費等、別表参照

(2) 農地農業用施設災害復旧事業

令和3年度繰越事業(令和3年災)である6箇所(農地1箇所、農道2箇所、頭首工1箇所、水路2箇所)の復旧事業を実施した。

また、令和4年災は、豪雨により9月に5箇所(農地2箇所、頭首工1箇所、水路2箇所)被災し、町単災害復旧事業により復旧工事を実施した。

※事業費等、別表参照

(3) 県単緊急農地防災事業

土砂崩落危険箇所台帳に登録された危険性の高い水路を対象に県営で整備するもので、町は測量試験費と長土連特別賦課金を負担し、県が工事を施工する事業。

令和4年度は、令和3年度繰越事業である向栗畑地区「ネギ様ため池」の改良工事を実施した。また、沼田地区「岩戸沢水路」の新規地区採択申請を行い、工事は次年度へ繰越となった。

※事業費等、別表参照

(4) 農村地域防災減災事業

上越野・下切跨線橋(JR跨線橋)は、令和元年度に大規模地震に対する耐震性の評価・耐震補強の検討を行い、災害防止効果の算定や事業計画を策定した。令和2年度に新規地区採択申請を行い、令和3年度に事業採択された。

令和4年度は、県営事業にて下切跨線橋耐震補強設計業務を実施した。

(5) 小水力利活用促進事業

平成30年度から令和2年度にかけて建設工事を行い、令和3年1月1日から供用開始し、発電した電気は中部電力パワーグリッド㈱へ売電している。

細ノ洞発電所の運営状況

歳 入		歳 出		
売電収入 (R4. 3. 7～ R5. 3. 6売電分)	7, 183, 150円 192, 063kWh×37. 4円 時間平均約 21. 9kWh	発電に係る運営経費	電気料	137, 155円
			一般修繕費	198, 000円
			委託料	1, 626, 726円
			使用料	65, 400円
			基金積立金	732, 477円
		他事業への充当	4, 423, 392円	
合 計	7, 183, 150円	合 計	7, 183, 150円	

(6) 南木曾町耕作条件改善事業

基盤や排水の不具合が発生している水田が増えてきたことから、令和元年度に中山間集落協定地を対象として実態調査を行い、令和2年度から令和3年度にかけて国庫補助事業を活用した水田の改修を関係機関と協議した。

協議の結果、国庫補助事業の採択要件を満たすことが困難なため、令和4年度に町単事業として、水田の改修を希望する農家に対して補助金を交付する制度を創設し、6件交付した。

補助金制度の内容

補助対象事業 基盤改修、暗渠排水設置

補助対象事業費(限度額) 1 a 当り750,000円 補助率4分の3

令和4年度実績 施工面積 2.2a 事業費 922,460円 補助金 691,000円

(7) 国土調査事業

令和4年度の国土調査事業は、田立下切・粟畑・大野正兼の山林部を実施した。

調査区名	事業内容	事業費
田立の一部 27区	地籍図原図作成、地積測定、地籍図及び地積簿作成、最終取りまとめ 0.22km ²	12,230,170円 (10,460,000円)
田立の一部 28区	地籍図根三角測量、地籍図根多角測量、一筆地調査、細部図根測量、一筆地測量 0.29km ²	() 内補助対象額

※事業費等、別表参照

国土調査実施地区一覧

年 度	地 区 名	成果 面積	成果 筆数	区 分	認証日	登記完了 日
52 - 18	本谷～下切 28 地区	(k m ²) 17.23	(筆) 23,830	平地		
18 - 22	下切・塚野の一部 (山林) 4 地区	2.52	144	山林		
22 - 23	塚野の一部 (山林)	0.18	31	山林	24.11.12	25. 3. 8
23 - 24	塚野の一部 (山林)	0.14	44	山林	25.11.20	26. 6. 6
24 - 25	塚野の一部 (山林)	0.09	25	山林	29.11. 9	30. 2. 5
25 - 26	塚野の一部 (山林)	0.33	71	山林	30. 5. 7	30. 8.10
26 - 27	塚野・大野正兼の 一部 (山林)	0.46	105	山林	31. 2.21	元. 5.28
27 - 28	大野正兼の一部 (山林)	0.29	62	山林	元. 8.29	元.10.16
28 - 29	大野正兼の一部 (山林)	0.39	156	山林	2. 7. 6	2. 9.29
29 - 30	大野正兼の一部 (山林)	0.29	72	山林	3. 3.31	4.10.12
30 - 元	粟畑・大野正兼の 一部 (山林)	0.25	84	山林	4. 1. 6	5. 1.30
元 - 2	粟畑の一部 (山林)	0.39	37	山林	5. 1. 4	未
2 - 3	粟畑の一部 (山林)	0.17	96	山林	未	未
3 - 4	粟畑の一部 (山林)	0.22	113	山林	未	未
4 - 5	下切・粟畑・大野正 兼の一部 (山林)	0.29	97	山林	未	未
計		23.24	24,967			

地籍調査対象面積 73.96k m² (平坦部17.23k m² 山林部56.73k m²)

平坦部成果面積計 17.23k m² (進捗率100%)

山林部成果面積計 6.01k m² (進捗率10.6%)

(8) 多面的機能支払交付金事業

第2期対策（令和元年度から令和5年度）の4年目。（15活動組織）

農地の維持や施設の長寿命化に取り組む活動に対して交付金を交付。

交付金5,300,348円（内訳：国2,650,174円 県1,325,087円 町1,325,087円）

地区名	実施面積 (a)	支払交付金 (円)	地区名	実施面積 (a)	支払交付金 (円)
与川1区	843	554,224	神戸	279	167,700
与川3区	678	296,384	元組	898	268,700
与川4区	669	369,200	向粟畑	1,056	625,800
与川5区	329	98,700	粟畑	1,074	611,000
岩倉	842	631,216	下切	862	246,800
榑野	189	56,700	大野	626	280,448
川向	276	73,000	正兼	799	480,700
上の原	1,227	539,776	合計	10,647	5,300,348

[別表]

令和4年度 農村整備関係 主な建設事業及び補助事業

1. 土地改良事業関係
(1) 農道整備事業関係

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源			内訳		備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
町単農道整備事業	上在郷 与川三区	農道修繕 1箇所 原材料支給 1箇所	396			396			
農村地域防災減災事業	上越野・下切 跨線橋	県営農村地域防災減災事業 上越野・下切地区負担金	1,690		1,500		190		生コンクリート V=3.5m ³ 県営事業負担金
小計			2,183		1,500	493	190		

(単位：千円)

(2) かんがい水路改良事業

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源			内訳		備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
町単水路改良事業	東町	水路修繕 1箇所	990			990			
県単緊急農地防災事業	沼田 (岩戸沢)	実施設計 一式	506				506		県営事業(水路工 L=170.4m) ※次年度繰越
小計			1,496			990	506		

(単位：千円)

(3) 災害復旧事業関係

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源			内訳		備考	
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
国庫災害復旧事業	上在郷	河川許可申請書作成 一式	429							
		実施設計 一式	1,672							
		頭首工復旧工 L=16.2m	46,668	34,055			62	15,917		※令和3年度繰越事業 大型ブロック積工 A=168.4m ²
		橋梁撤去工 一式	1,265							
		実施設計 一式	44							
塚野	与川三区	農道復旧工 L=5m	1,958	1,328		14	660		※令和3年度繰越事業 ブロック積工 A=15.8m ²	
		農道復旧工 L=15m		374			△ 374		※国庫補助金(一部)繰越収入	
町単災害復旧事業	町内	修繕 9箇所 (農地 3箇所、農道 1箇所、 頭首工 1箇所、水路 4箇所)	3,484			88	3,396		※令和3年度繰越事業 4箇所 (農地 1箇所、農道 1箇所、 水路 2箇所)	
小計			55,520	35,757		164	19,599			
土地改良事業合計				59,199	35,757	1,647	20,295			

(単位：千円)

2. 国土調査事業関係

(単位：千円)

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源			内訳		備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
国土調査事業	田立27区 28区 (栗畑・下切 ・大野正兼 山林)	27区 (0.22k㎡ : 113筆)	12,230	5,230	2,615			4,385	
		28区 (0.29k㎡ : 97筆)							
国土調査事業合計			12,230	5,230	2,615		4,385		
農村整備関係合計			71,429	40,987	2,615	1,500	1,647	24,680	

(単位：千円)

7. 林 務

(1) 林業振興関係

① 民有林振興対策事業

民有林振興対策として林業家の森林整備意欲等の向上を図るため補助を行った。

ア. 林業指導啓発事業

南木曾町森林組合による民有林の指導啓発活動をはじめ林業職員の技術向上事業に対して988,000円を補助した。

イ. 造林事業

森林所有者の負担軽減を図るため、除間伐を中心とする森林造成事業の森林整備費として森林組合を通じて378,737円を補助した。

実施された造林事業は、次のとおりである。

(単位：ha・円・m)

作業種	4年度		3年度		2年度		備 考
	事業量	補助金額	事業量	補助金額	事業量	補助金額	
地拵え	—	—	—	—	—	—	
新 植	—	—	—	—	—	—	
下 刈	2.40	—	2.40	—	5.40	—	
枝 打	—	—	—	—	—	—	
除 伐	—	—	3.0	—	—	—	
獣害防止	4.17	—	1.88	—	—	—	
間 伐	15.75	378,737	33.25	821,262	30.35	777,177	
除間伐	—	—	—	—	—	—	
搬出間伐	6.68	—	9.39	—	6.79	—	
改 植	—	—	—	—	—	—	
その他	—	—	—	—	—	—	
(竹林整備)	—	—	—	—	—	—	
合計	29.0	378,737	49.92	821,262	42.54	777,177	
作業路	396	—	589	—	751	—	

*町有林整備事業を含む。

ウ. 特認事業

林業後継者対策事業として、南木曾町林業研究クラブに100,000円を補助した。

エ. 森林経営管理制度

木曾広域連合内に設立した森林経営管理制度に対応する部署と連携し、妻籠城山地区(56林班)の再委託先募集と森林整備、田立傘木地区(105林班)の意向調査を行った。
 木曾広域連合負担金：5,120,000円 妻籠城山地区(56林班)整備費：1,903,000円
 与川川合地区(23林班)巡視：84,150円

オ.薪・ペレットストーブ設置補助金

4台の薪・ペレットストーブ設置に対して補助を行った。400,000円(100,000円/台)

カ.森林整備促進事業補助金

令和3年度より作業道新設・修繕に係る費用、令和4年度より皮剥防止に係る費用の補助金を交付している。令和4年度は該当がなかった。

キ.ライフライン等保全対策事業

令和3年度より町道、林道等の危険木伐採事業を行っている。令和4年度は川向、塚野地区の危険木を伐採した。1,857,900円

②育樹祭

国有林内の「伝統工芸の森」において、令和4年度木曾森林管理署南木曾支署・南木曾町合同育樹祭を行った。参加者41名

③その他

・みどりの募金

期間 4月1日～5月31日

募金額 225,516円 内訳 世帯募金 221,910円 職場等 3,606円

街頭募金は、山林協会と木曾地域振興局林務課が、4月30日に妻籠宿ふれあい館前にて実施した。

・みどりの少年団

例年7月下旬に、王滝村松原スポーツ公園にて開催される木曾地区みどりの少年団交流集会へ南木曾小学校みどりの少年団が参加する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

・南木曾中学校1年生体験学習

4月13日 椎茸植菌作業事前学習（講師：木曾地域振興局林務課）

21日 椎茸植菌作業（講師：南木曾町森林組合、林研クラブ）

10月14日 林業体験事前学習（講師：南木曾町森林組合）

21日 田立地区国有林内の学校林において、林業体験として間伐作業実施

・森林の里親促進事業

福澤桃介が初代社長であり、愛知県名古屋市に本社のある、大同特殊鋼(株)がH28年度に創業100周年を記念して、福澤桃介ゆかりの地である南木曾町と森林の里親契約を締結している。今年度も昨年度に引き続き、森林整備のために年100万円の寄付をいただいた。大同特殊鋼(株)の社員の皆さんと共に山林整備を実施する予定だったが、新型コロナウイルス蔓延防止のため中止となった。寄付金にて委託により下刈、作業歩道修繕を行った。

(2) 町有林関係

①町有林造成事業

令和4年度の実施内容は以下のとおり

搬出間伐	(峠町有林)	6.68ha
保育間伐	(下安町有林、峠町有林)	3.10ha
下刈	(天白町有林)	2.4ha
獣害防止	(夏焼保神町有林)	4.17ha

②山林委員会

町有林の管理・維持のため各地区に山林委員を委嘱している。

委員の方には受け持ち林班の巡視を始め、町有林経営計画に基づく施業の確認、体験学習等の指導、関連事業の立ち会いをお願いしている。

山林委員名簿

委員長：田中 淳司 副委員長：小幡 征海

読書	古根 一	吾妻	亀山 寿幸	田立	小幡 征海
	田中 淳司		尾崎 利輝		林 重利

任期：令和2年5月1日～令和6年4月30日まで 4年間

山林委員会は、2回開催した。

山林委員の町有林巡視の他、南木曾町森林組合に巡視の一部を委託した。

(委託料：264,000円)

③公有林野等官行造林地の契約終了に伴う返還について

令和3年度与川官行造林地 55.45ha 国持ち分買取金額14,681,480円

令和4年度賤母・中折・夏焼官行造林地 55.39ha 国持ち分買取金額18,613,100円

(3) 林道開設・改良等事業

①林道開設 実施なし

②林道改良 秋葉山線改良工事で舗装工184mを施工した。

③作業道開設

峠町有林搬出間伐業務に伴い搬出路として作業道を町有林内に開設した。

開設により高性能林業機械が進入可能となり作業効率が向上した。

峠町有林作業道開設

R4年度 延長 396.0m、幅員3.0m

(4) カモシカ対策事業

民有林・国有林内におけるヒノキの幼齢木に対するカモシカの食害は、新植面積の減少により減る傾向にあるが、農作物を対象とした被害は依然として後を絶たない。

個体数調整事業は、第二種特定鳥獣管理計画に基づき被害状況から捕獲計画頭数を10頭で申請。長野県において審査の結果、申請と同数が計画頭数に認められず、6頭の捕獲実績となった。

(5) 森林病虫害等防除対策事業

・松くい虫防除対策

補助事業により南木曾町から大桑村への北上防止を実施するとともに、生活道路周辺の危険木と合わせ伐倒・くん蒸処理を実施した。

県補助事業により被害拡大防止に努めているが、北上防止を優先しており、大桑村町村境周辺のみ実施としている。このためその他地域では処理が進まず、町内の被害は拡大している。枯損木となり公共施設等へ倒木することにより人身被害及び物損被害の懸念のある木については地権者の申請により伐採のみ町で実施している。

- ・カシノナガキクイムシ対策

町内各地で被害が出ており、枯損木が確認された。

県補助事業により、被害拡大防止のための被害木処理を実施している。

(6) 有害鳥獣駆除事業

南木曾町有害鳥獣駆除対策協議会では、書面による意見聴取にて令和4年度の駆除実施計画、南木曾町有害鳥獣被害防止計画について確認し、駆除班を編成して実施した。

有害鳥獣の駆除・追払い等の活動を実施する、「有害鳥獣駆除従事者」は、南木曾町猟友会員のうち講習受講者57名の登録とした。

合わせて、「有害鳥獣駆除従事者」により「鳥獣被害防止実施隊」を編成し、有害駆除を実施した。

新規狩猟免許取得者3名へ取得費用の補助を行い、有害駆除従事者・被害防止実施隊員の登録をした。

国補助事業により向栗畑地区と椰野地区へ侵入防止柵を導入した。また、神戸地区の国道19号沿い町有地の支障木危険木伐採を行ったが、この箇所は以前からサルの出没ルートとなっており緩衝帯としての効果も見込まれる。更にニホンザル用の捕獲檻5基、くくりワナ120基を購入し猟友会各支部へ配布し、ニホンザル用の大型捕獲檻1基を与川地区に設置し運用を行った。

今年度も県からの依頼により、豚熱（旧称豚コレラ）蔓延防止の観点から捕獲イノシシの検査を猟友会の協力の下で行った。

- ・忠犬事業

忠犬による有害鳥獣の追い払い事業は、平成17年度から行われている。

令和4年度末までに本登録31頭が登録されている。本年度も忠犬の状態確認を行った

- ・クマ被害対策

猟友会の協力の下、被害対策・捕獲を行っている。第5期ツキノワグマ保護管理計画における長野県への意見照会では、集落付近で錯誤捕獲となった場合は、人身被害を防止する観点から捕殺を含む対処を強く要望。このほか広報誌や区長配布による注意喚起や、広報無線による出没情報の周知を図っている。

(7) 治山事業（県事業）

- ・災害関連緊急治山事業

読書 与川 下山沢（山腹工0.08ha）

- ・県単治山事業

読書 与川 阿征坂（ボーリング暗渠工8本）

読書 南栄町 袖ヶ沢（工事用道路一式、支障木伐採一式）

(8) 災害復旧事業

- ・補助災害分 (繰越) 令和3年度 林道施設災害復旧事業 林道奥向夏虫線復旧工事
- ・町単災害分 (繰越) 林道奥向夏虫線非補助工事
- ・県単災害分 なし

令和4年度林務関係主要事業

(1) 林業振興関係

単位：千円

事業名	事業主体	事業量 (ha、台、 m、箇所)	事業費	左の財源内訳				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源	
林業振興事業補助金 (指導啓発事業)	森林組合		988				988	
林業振興事業補助金 (造林事業)	森林組合	12.65	378				378	
林業振興事業補助金 (特認事業)	林研クラブ		100				100	
山林資源活用機器設置補助金 (薪・ペレットストーブ設置)	町	4	400			400		その他：森林経営管理基金
森林整備促進事業補助金 (作業道開設・修繕・皮剥防止)	町	0	0					その他：森林経営管理基金
ライフライン等保全対策事業 (危険木伐採)	町	2	1,857			1,857		その他：森林経営管理基金
合計			3,723	0	0	2,257	1,466	

(2) 町有林造成事業

単位：千円

事業名	事業主体	事業量	事業費	左の財源内訳				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源	
町有林造成事業	町	保育間伐 1.2ha 下刈・作業道補修 2.40ha 獣害防止 4.17 搬出・保育間伐	578			200	378	下安町有林(田立塚野) その他：寄付金
			927			927	0	天白町有林(読書天白) その他：寄付金
			880			73	807	夏焼保神町有林(漆畑) その他：寄付金
		8.58ha 作業道開設 396m	13,085		5,038	647	7,400	峠町有林(田立塚野) その他：上下流交流基金
合計			15,470	0	5,038	1,847	8,585	

(3) 林道開設・改良・維持事業

① 林道改良事業 単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳				備考	
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源
道整備交付金事業 林道秋葉山線改良工事	読書岩倉	舗装工	9,680	3,226	96			6,358	

② 林道維持補修 単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳				備考	
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源
林道維持修繕	町内	・維持修繕	1,667	0	0	0	0	1,667	修繕8路線、12か所 恋路峠線、秋葉山線、川向棚野線、袖山線 梨子沢線、細野山線、西山線、長根線

③ 作業道開設 単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳				備考	
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源
峠町有林作業道開設	峠町有林	作業道 開設 396 m	3,271	0	1,259	0	161	1,851	上下流交流基金 161千円

(4) カモシカ対策事業

① 事業費 単位：千円

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源内訳				備考	
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源
カモシカ個体数調整事業	町内一円	6頭	342	0	0	0	0	342	

② 捕獲実績 単位：頭数

年度	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4	合計
頭数	8	8	9	10	10	5	3	4	10	6	73

(5) 森林病害虫等防除対策事業

① 松くい虫対策

ア 事業費

単位：千円

事業名	実施箇所	事業量 (m)	事業費	左の財源内訳				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源	
森林づくり推進支援金事業	町内一円	24.80	964		757		207	県民税事業
松林健全化推進事業		131.87	5,303		3,745		1,558	
(内 松くい虫被害)	三留野以北	(121.58)	(4,815)		(3,379)		(1,436)	
(内 ナラ枯被害)		(10.29)	(488)		(366)		(122)	
危険枯損木処理(松枯)	町内一円	1.80	89				89	地権者要望箇所対応
計		158.47	6,356	0	4,502	0	1,854	

イ 枯損木の伐倒燻蒸処理量

単位：m³

年度	処理量	元				合計
		25	26	27	28	
	225.40	491.67	253.27	186.50	190.50	155.34
			29	30		2
						3
						4
						158.47
						2,320.11

(6) 有害鳥獣駆除事業

① 事業費

単位：千円

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源内訳				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源	
有害鳥獣対策事業	町内一円	一式	4,855				4,855	駆除報償金、大型檻等
鳥獣被害防止 緊急捕獲等対策交付	町内一円	一式	3,550	1,040			2,510	ニホンザル・ニホンジカ ・イノシシ 個体数調整 有害鳥獣捕獲者支援 ツキノワグマ放獣
野生鳥獣総合管理対策事業	町内一円	一式	235		117		118	
鳥獣被害防止総合対策交付金	町内一円 田立 塚野	一式	2,100		2,075		25	ワナ、檻購入 侵入防止柵設置
忠犬による追払い事業	町内一円	一式	337				337	訓練、状態確認、飼主傷害保 険
計			11,077	1,040	2,192	0	7,845	

② 有害鳥獣駆除数実績

単位：頭数

駆除対象鳥獣	サル	イノシシ	クマ	キジバト	カラス	ノウサギ	ハクビシン	タヌキ	カワウ アオサギ	アライグマ				アナグマ
										ニホンジカ	30,000	1,000	3,000	
報酬単価	30,000	10,000	15,000	—	500	—	3,000	3,000	1,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
有害許可頭数等	90	100	必要数	10	30	5	50	90	10	10	120	10	20	
駆除数	75	91	5	0	0	0	16	68	0	0	113	4	9	
(前年度駆除頭数)	59	40	1	0	0	1	40	56	0	0	102	5	4	

③ 熊の出没回数

単位：回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和4年	1	7	1	7	5	9	0	0	0	0	1	0	31
令和3年	0	1	1	8	12	8	2	0	1	0	0	0	33

④ 忠犬登録実績

単位：頭数

	30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
読 書	25	25	24	22	21
与川一区	2	2	2	2	2
与川三区	2	2	2	2	2
与川五区	2	2	2	2	2
十二兼	1	1	1	1	1
本谷	1	1	0	0	0
岩倉	1	1	1	1	1
戸場	1	1	1	1	1
川向	5	5	5	5	5
沼田	1	1	1	1	1
上の原	5	5	5	3	3
和合北	1	1	1	1	1
新町	1	1	1	1	1
東町	2	2	2	2	1
吾 妻	6	5	4	5	6
中町	1	1	1	1	1
橋場	1	1	1	1	1
大妻籠	3	2	1	2	3
下り谷	0	0	0	0	0
口広瀬	1	1	1	1	1
田 立	9	9	5	5	4
元組	1	1	0	0	0
向栗畑	2	2	2	2	1
栗畑	1	1	1	1	1
下切	1	1	0	0	0
大野正兼	1	1	0	0	0
塚野	3	3	2	2	2
合 計	40	39	33	32	31

(7) 治山事業費

県事業分 (R4年度完了分)

事業名	実施箇所	事業及び事業量	備考
災害関連緊急治山事業	下山沢	山腹工 0.08ha	請負金額 29,161千円
県単治山事業	阿征坂	ボーリング暗渠工 8本	請負金額 21,428千円
県単治山事業	袖ヶ沢	工事用道路工 支障木伐採 一式 一式	請負金額 12,243千円

(8) 災害復旧事業費

① 国庫補助事業分 (R3年度からの繰越分)

事業名	実施箇所	事業及び事業量	備考
林道用施設災害復旧事業	奥向夏虫	路肩流出復旧工 L=45m	請負金額 6,710千円

② 町単独事業分 (R3年度からの繰越分)

事業名	実施箇所及び事業内容	備考
林道用施設災害復旧事業	林道奥向夏虫線非補助工事	請負金額 990千円